
もう、ロリコンでいいや!

ケレンコフ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

もう、ロリコンでいいや！

【Nコード】

N2511P

【作者名】

ケレンコフ

【あらすじ】

俺は姫野正彦。先日の彼女が出来た。

同じ学校の同級生だが、まるで小学生のような外見をしている。

先に言っておく。俺はロリコンではない。

だが、付き合ってから思うようになった。

もう、ロロロンとやー！

と。

彼女との日常（前書き）

こんにちははじめまして。

やっちゃったZE！

彼女との日常

「よう、おはよ

「あ、おはようございます姫野さん……正彦さん」

「ん。よしよし。桜。」

「ふあ……って、止めて下さいよう。」

「何で？」

「だって。これじゃ恋人に見えないじゃないですかあ。」

「悪い悪い。」

ナデナデ

「ふあああ。って、また撫でる！」

「ん？おお、すまんすまん。気を付ける」

「もうっ……ダメですからね！禁止ですからね！」

「そうか……」

「何で残念そうなんですか……怒りますよ！」

「ん。そうか、人に見られるから嫌なのか？なら二人きりの時なら

「良いか？」

「…ッ！か、勝手にしてください！！」

「ん。ありがとう。」

「ありがとうって何ですか。どうゆう事ですか！！」

「何でって。撫でたいから？」

「何故疑問形なんですか！！というか、答えになってません！」

ナデナデ

「はあう…。って！怒りますよ！」

「あはは、悪い悪い。じゃあ椀、行こうか。」

「もうっ！知りません！」

と言って椀は歩き出す。

いや、少し歩いた所で待っている。

「よし、今日も元気に学校へ行こう！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2511p/>

もう、ロリコンでいいや!

2010年12月2日08時20分発行